

21世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター 2011年度の活動

1. 講演会

- 1) 日時：2011年9月5日(月) 15:00~16:30
場所：LMJ 東京研修センター 5階特大会議室
講師：David C. Funder (University of California, Riverside)
テーマ：「accuracy in personality judgment」
司会：堀毛一也(東洋大学社会学部)

2. 共同セミナー

- 1) 第2回 東洋大学 HIRC21 & 翰林大学応用心理研究所共同セミナー
日時：2011年11月4日(金) 14:00~18:00
場所：翰林大学応用心理研究所
テーマ：「New perspectives of traumatic stress and mental health」

3. 研究交流会

島崎プロジェクト

- 1) 日時：2011年4月23日(土) 15:00~
場所：東洋大学白山校舎
議題：2010年度の研究計画経過報告と2011年度の研究計画
- 2) 日時：2011年5月21日(土) 15:00~
場所：東洋大学白山校舎
議題：研究の進捗状況報告と学会発表の打ち合わせ
- 3) 日時：2011年6月25日(土) 15:00~
場所：東洋大学白山校舎
議題：学会発表の打ち合わせ
- 4) 日時：2011年7月25日(月) 10:30~
場所：東洋大学白山校舎
議題：学会発表申請に関する最終打ち合わせ
- 5) 日時：2011年10月15日(土) 12:30~
場所：東洋大学白山校舎
議題：学会発表の確認と学会報告内容に関する講演会
- 6) 日時：2011年11月12日(土) 13:00~
場所：東海大学
議題：政治・経済事件に関する内容分析の打ち合わせ

4. 学会活動

Horike, K. (Toyo University). An exploration for the individual differences in sustainable mind. The second world

congress on positive psychology (Philadelphia, U.S.A) , July 23-26, 2011.

Horike, K. (Toyo University). Individual Differences in Subjective Well-being: From the perspectives of cultural coherence among situations, groups, and relationships (2). (Kunming, China) , July,28-31, 2011.

堀毛一也（東洋大学）「サステナブルな心性と行動の関連に関する予備的検討（1）－社会人サンプルに関する分析－」 日本グループ・ダイナミックス学会第58回大会 2011年8月23日

堀毛一也（東洋大学）「サステナブルな心性と行動の関連に関する予備的検討（2）－学生サンプルに関する分析－」 日本心理学会第75回大会 2011年9月15日

Horike, K. (Toyo University). Some problems on the study of situation. 日本パーソナリティ心理学会第20回大会国際交流委員会企画シンポジウム「パーソナリティをどうとらえるか：人－状況論争を越えて」2011年9月2日

片平冽彦（新潟医療福祉大学大学院）「『イレッサ薬害訴訟』から、がん医療のあり方を考える」 第38回医療研究全国集会（新潟大学）2011年6月18日

片平冽彦（新潟医療福祉大学大学院）「薬害イレッサ訴訟における国と企業の責任－初期の情報と対応について」 第52回日本社会医学会総会（富山大学）2011年7月23日

片平冽彦（健和会 臨床・社会薬学研究所／新潟医療福祉大学大学院）「社会薬学の“初心”－社会薬学研究会設立発起世話人の一人として－」 日本社会薬学会第30年会（東京大学）2011年9月3日

片平冽彦（健和会 臨床・社会薬学研究所／新潟医療福祉大学大学院），小池盛明（協立医師協同組合），宮地典子（株式会社 エイトライフ）「イレッサ薬害事件における国・企業・関係医師・学会等の責任」 日本社会薬学会第30年会（東京大学）2011年9月4日

片平冽彦（健和会 臨床・社会薬学研究所／新潟医療福祉大学大学院）「イレッサ薬害事件における被告国と企業の責任」 イレッサ薬害西日本訴訟結審前夜集会（エルおおさか）2012年1月26日

久保ゆかり（東洋大学）「情動制御の発達－多面的な視座から－」における話題提供 第23回日本発達心理学会大会 2012年3月10日

松井豊（筑波大学）・兪善英（筑波大学）「南関東居住者における東日本大震災による不安やストレス（1）」 地域安全学会 2011年

松井豊（筑波大学）・兪善英（筑波大学）「南関東居住者における東日本大震災による不安やストレス（2）」 日本集団災害医学会 2011年

Yoo, S. (University of Tsukuba), Hatanaka, M. (Meijyo University), Matsui, Y. (University of Tsukuba). traumatic stress of Japanese volunteer firefighters, *The 27th annual meeting of the International Society for Traumatic Stress Studies (ISTSS)*, S159, Baltimore, USA. November, 2011.

Yoo, S. (University of Tsukuba), Matsui, Y. (University of Tsukuba), Hatanaka, M. (Meijyo University). Perception of anxiety in family members and traumatic stress in Japanese firefighters dispatched to the disaster area of the Great East Japan Earthquake, *Division of Clinical Psychology of The British Psychological Society Annual Conference 2011.*#16, p74, Birmingham, England. December, 2011.

落合萌子（筑波大学）・松井豊（筑波大学）「違法・有害情報対策従事者における外傷性ストレスと精神的不健康」 日本社会心理学会第52回大会 2011年9月18日

市村美帆（東洋大学）・松井豊（筑波大学）・吉野美緒（日本医科大学）・稲本絵里（日本医科大学）・重村

朋子（日本医科大学）・増野智彦（日本医科大学）・横田裕行（日本医科大学）「病院前診療活動に伴う医師の心的外傷に関する研究—ふだんの活動と精神的健康との関連—」 日本社会心理学会第 52 回大会 2011 年 9 月 18 日

小川祐喜子（東洋大学）・柳瀬公（東洋大学大学院社会学研究科）「犯罪報道における被疑者・被害者の取り扱い方の変遷と問題点に関する実証的研究」 日本マス・コミュニケーション学会 2011 年度秋季研究発表会 2011 年 11 月 12 日

竹田葉留美（千葉大学大学院融合科学研究科）・落合勉（立教大学現代心理学部）小口孝司（立教大学現代心理学部）「自伝的記憶の機能についての検討」 日本心理学会第 75 回大会 2011 年 9 月 15 日～17 日

Takeda, H. (Chiba University), Motoki, K. (Rikkyo University), Oguchi, T. (Rikkyo University). Effects of an excursion on mental health. The 2011 TOSOK International Tourism Conference, (Seoul), (Organized by Tourism Sciences Society of Korea), July 4-6, 2011.

清水 裕（昭和女子大学）「周囲の他者が防災行動意図に及ぼす影響」 日本心理学会第 75 回大会 2011 年 9 月 16 日

谷口尚子（東京工業大学）「投票参加のダイナミクスに関する実験研究」 日本政治学会大会 2011 年 10 月 8 日

Taniguchi, N. (Tokyo Institute of Technology). "The Reform of Electoral System and the Realignment of Party System in Japan". The 2012 AES International Conference. Tokyo, Japan, Feb, 2012.

5. 論文

福岡欣治 (2011). 大学生における保健行動とソーシャル・サポート—体型認知およびダイエット行動を含めた検討— 川崎医療福祉学会誌, 21(1), 107-113.

福岡欣治 (2011). 日常ストレス経験に伴う友人との肯定的および否定的相互作用と心理的健康—否定的相互作用の種類に注目した検討— 川崎医療福祉学会誌, 21(1), 115-119.

福岡欣治 (2012). 日常ストレス経験に伴う特定の親友との相互作用と心理的健康—過去 1 週間での経験に関する検討— 川崎医療福祉学会誌, 21(2), 印刷中.

堀毛一也 (2011). 主観的 well-being の概念と社会的スキル 対人社会心理学研究, 11, 4-10.

堀毛一也 (2011). サステナブルな心性と行動の関連に関する予備的検討—sustainable well-being への心理学的アプローチ— 東洋大学・エコフィロソフィ研究, 印刷中.

片平洸彦 (2011). 被害者福祉学・予防福祉学の課題と展望—薬害被害の場合— 新潟医療福祉学会誌, 10, 59-64.

片平洸彦・小池盛明・中村喜一郎・八田加奈子・宮地典子 (2011). 副作用報告における担当医と企業の因果関係判定の相違度 (3) リン酸オセルタミビル (タミフル) 服用 155 例の場合 東洋大学 21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター研究年報, No.8, 49-55.

内山由美子・片平洸彦 (2011). 薬害 C 型肝炎患者のライフに関する研究 東洋大学 21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター研究年報, No.8, 57-62.

片平洸彦・細井洋子・榎宏朗・小泉隆文 (2011). 「安全・安心」な福祉社会形成のあり方 (第 3 報) — 犯罪と社会福祉・社会保障との関係に関する統計的考察 (その 1) — 福祉社会開発研究, 4, 57-63.

榎宏朗・細井洋子・小泉隆文・片平洸彦 (2011). 犯罪の抑止変数に関する統計的検討— 警察庁統計と社会保障

・社会福祉の指標を用いた重回帰分析の結果より一. 東洋大学社会福祉研究, No.4, pp.31-38.

片平洸彦 (2011). イレッサ薬害訴訟における国の責任—初期の情報と対応について (第1報). 月刊国民医療, No.282, pp. 1-4.

片平洸彦・小池盛明・八田加奈子・中村喜一郎・宮地典子 (2011). 副作用報告における担当医と企業の因果関係判定の相違度 (3) リン酸オセルタミビル (タミフル) 服用 155 例の場合 社会薬学, 29(2), p.107.

片平洸彦・日野紀子 (2011). 新型インフルエンザ流行期におけるタミフルの副作用報告 社会薬学, 29(2), p.108.

片平洸彦 (2011). イレッサ薬害訴訟における国の責任—初期の情報と対応について (第2報) 月刊国民医療, No.283, pp. 2-5.

片平洸彦 (2011). イレッサ薬害訴訟における国の責任—初期の情報と対応について (第3報) 月刊国民医療, No.290, pp. 65-70.

片平洸彦・小池盛明・宮地典子 (2012). イレッサ薬害事件における国・企業・関係医師・学会等の責任 社会薬学, 30(2), pp. 50-52.

白井美穂・サトウタツヤ・北村英哉 (2011). 複線径路・等至性モデルからみる加害者の非人間化プロセス—「Demonize」と「Patientize」法と心理, 11, 40-46.

松井豊・畑中美穂・丸山晋 (2011). 消防職員における遅発性の惨事ストレスの分析 対人社会心理学研究, 11, 43-50.

畑中美穂・松井豊・兪善英 (2011). 惨事に出場した消防団員の急性ストレス反応 筑波大学心理学研究, 42, 43-50.

安藤清志・松井豊・福岡欣治 (2011). 航空機事故犠牲者の遺族の心理—名古屋空港中華航空機墜落事故の事例から (1) 東洋大学社会学部紀要, 48, 57-72.

望月聡・山田一夫・松井豊・福井俊哉 (2011). PTSD患者に見られる神経解剖学的・神経心理学的変化に関する研究の概観 筑波大学心理学研究, 42, 51-58.

Aiba, M., Matsui, Y., Kikkawa, T., Matsumoto, T., & Tachimori, H. (2011). Factors influencing suicidal ideation among Japanese adults: From the national survey by the Cabinet Office. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. doi:10.1111/j.1440-1819

丹野宏昭・山崎達枝・松井豊・山影有利佐 (2011). 2007年新潟県中越沖地震の被災介護職員のストレス反応 日本集団災害医学会誌, 16(1), 19-26.

松井豊 (2011). 東日本大震災における報道人ストレス研究会の活動・惨事ストレスとは・ジャーナリストのための惨事ストレス対策 報道人ストレス研究会 (編) ジャーナリストの惨事ストレス 現代人文社. Pp2-6, 112-119, 148-158.

大島尚 (2011). 環境問題の社会的ジレンマにおけるボランティア行動 東洋大学「エコ・フィロソフィ」研究, 5, 57-66.

谷口尚子・佐伯友美 (2011). 都心部大規模大学の地震防災対策と学生の意識 東洋大学 21世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター研究年報, 8, 37-47.

Giannetti, D. & Taniguchi, N. (2011). "The Changing Bases of Party Support in Italy and Japan: Similarities and

Differences", In A Natural Experiment on Electoral Law Reform: Evaluating the Long Run Consequences of 1990s Electoral Reform in Italy and Japan", Daniela Diannetti and Bernard Grofman eds., Springer, pp. 33-57.

谷口尚子 (2011). 「第 17 回統一地方選挙：震災・争点・選挙行政」『月刊地方自治』 地方自治制度研究会／編。ぎょうせい。2011 年 6 月号, pp. 2-12.

6. 著書

安藤清志 (2011). 報道人ストレス研究会編著 ジャーナリストの惨事ストレス 現代人文社 (ジャーナリストの惨事ストレスに対する視点, pp.39-47; 傷後成長, pp.132-140.) .

D.M.ブッシュ・M.フリースタット・P.ライト (安藤清志・今井芳昭監訳) (2011). 市場における欺瞞的説得：消費者保護の心理学 誠信書房

堀毛一也 (2011). 二宮克美・子安増生 (編) キーワードコレクション社会心理学 新曜社 (Ⅰ-1 社会的自己, Ⅱ-1 7 社会的スキル担当) .

片平冽彦 (2011). ソリブジン薬害 「薬と社会をつなぐキーワード事典」編集委員会 (編) 薬と社会をつなぐキーワード事典, 本の泉社 pp.240-241.

片平冽彦 (2011). タミフル薬害 「薬と社会をつなぐキーワード事典」編集委員会 (編) 薬と社会をつなぐキーワード事典, 本の泉社, pp. 249-250.

片平冽彦 (2011). 薬害 「薬と社会をつなぐキーワード事典」編集委員会 (編) 薬と社会をつなぐキーワード事典, 本の泉社, pp. 312-314.

片平冽彦 (2011). 薬害肝炎 「薬と社会をつなぐキーワード事典」編集委員会 (編) 薬と社会をつなぐキーワード事典, 本の泉社, pp.317-320.

片平冽彦 (2011). 薬害スモン 「薬と社会をつなぐキーワード事典」編集委員会 (編) 薬と社会をつなぐキーワード事典, 本の泉社, pp. 321-323.

片平冽彦 (2011). 第 1 部 第 12 章 被害者福祉学・予防福祉学の課題と展望—薬害被害の場合— 新潟医療福祉大学社会福祉学部 (編) 社会福祉の可能性, 相川書房, pp. 122-132.

福岡欣治 (2011). 報道人ストレス研究会 (編) ジャーナリストの惨事ストレス 現代人文社・東日本大震災前の活動 (2011 年 2 月頃まで) pp. 18-29., 海外の取り組み：ダートセンター, pp. 30-37., おわりに, pp. 159-164.

7. その他

福岡欣治・畑中美穂 (2011). 惨事ストレスから記者を守るために——求められる組織的な対策 (特集・大震災に向き合う) 月刊民放, 2011 年 6 月号, 24-27.

福岡欣治 (2012). 「ジャーナリストの惨事ストレス」を理解すること—取材者、そして被災者のために— 民間放送, 2012 年 2 月 23 日 (第 1889 号) , 4 面.

福岡欣治 (川崎医療福祉大学) 「ジャーナリスト (取材、報道関係者) と惨事ストレス」 読売テレビ社内講演会 (読売テレビ本社 1 F ホール) 2011 年 6 月 8 日

福岡欣治 (川崎医療福祉大学) 「ジャーナリストと惨事ストレス～被災者との関係を含めて～」 共同通信労組「新聞研究集会」基調講演 2 (共同通信社 13 F 会議室) 2011 年 6 月 25 日

Horike, K. (2011). Culture and well-being. International Forum "New perspectives of traumatic stress and mental health" (Hallym University, ROK), November 4, 2011.

堀毛一也 (2011). (書評) ミシェル, W. ショウダ, Y. アイダック, O. (著), 黒沢香・原島雅之(監訳), 『パーソナリティ心理学—全体としての人間の理解—』 社会心理学研究, 26, 3, 232.

松井豊(筑波大学)・福岡欣治(川崎医療福祉大学)「ジャーナリストの惨事ストレスについて」 日本新聞協会加盟 在京労務常任委員会(日本記者クラブ7F会議室) 2011年6月28日

松井豊(筑波大学)・福岡欣治(川崎医療福祉大学)「ジャーナリストの惨事ストレスについて(研究と支援の試み)」日本行動計量学会第39回大会特別企画シンポジウム「災害報道と行動計量」(企画者・鮎戸弘)(岡山理科大学)2011年9月13日

松井豊(筑波大学)・福岡欣治(川崎医療福祉大学)「ジャーナリストの惨事ストレス～東日本大震災をふまえて～」新聞労連第126回中央委員会(文京区民会館) 2011年9月26日

松井豊(筑波大学)・福岡欣治(川崎医療福祉大学)「惨事取材後のメンタルヘルス～東日本大震災をふまえて～」第54回新聞労務講座(日本記者クラブ10F) 2011年10月6日

※プロジェクトに参加するメンバーは以下の通りである。

〔研究員〕

安藤清志(東洋大学社会学部教授)〔統括責任者〕
大島尚(東洋大学社会学部教授)
島崎哲彦(東洋大学社会学部教授)
黒澤香(東洋大学社会学部教授)
北村英哉(東洋大学社会学部教授)
久保ゆかり(東洋大学社会学部教授)
堀毛一也(東洋大学社会学部教授)
細井洋子(東洋大学社会学部教授)
原山哲(東洋大学社会学部教授)
加藤司(東洋大学社会学部准教授)
関谷直也(東洋大学社会学部准教授)
菅さやか(東洋大学社会学部助教)

〔客員研究員〕

松井豊(筑波大学教授)
小口孝司(立教大学教授)
片平冽彦(新潟医療福祉大学大学院教授)
福岡欣治(川崎医療福祉大学准教授)
清水裕(昭和女子大学准教授)
谷口尚子(東京工業大学准教授)

〔研究支援者〕

市村美帆(東洋大学)
下田俊介(東洋大学)

〔リサーチ・アシスタント〕

白井美穂(東洋大学大学院社会学研究科)
柳瀬公(東洋大学大学院社会学研究科)